

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

(氏名) 杉脇 弘基

2025年10月31日

上場会社名明治電機工業株式会社

上場取引所 東

工場云社石 明石電磁工業体式云行 コード番号 3388 URL h

3388 URL https://www.meijidenki.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名)企画管理本部長 (氏名)成瀬 克久 TEL 052-451-7661

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	36, 745	7. 5	1, 645	98. 5	1, 813	95. 6	1, 306	105. 0
2025年3月期中間期	34, 173	0.6	828	△24. 7	927	△31.9	637	△33. 9

(注)包括利益 2026年3月期中間期

1,493百万円 (37.0%)

2025年3月期中間期

1,089百万円 (△32.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益		
	円 銭	円 銭		
2026年3月期中間期	102. 58	-		
2025年3月期中間期	50. 09	-		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2026年3月期中間期	52, 712	35, 916	67. 4	
2025年3月期	54, 208	34, 770	63. 4	

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 35,537百万円 2025年3月期 34,392百万円

2 配当の状況

2. 配当の状況						
	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭	
2025年3月期	_	30.00	_	30.00	60.00	
2026年3月期	_	44. 00				
2026年3月期(予想)			_	44. 00	88. 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	可益	親会社株3		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	82, 500	4. 9	3, 730	13. 2	3, 990	10.9	2, 800	15. 0	219. 87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(注)詳細は、添付資料P.6「2.中間連結財務諸表及び主な注記(3)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	12, 765, 820株	2025年3月期	12, 765, 820株
2026年3月期中間期	13, 165株	2025年3月期	30, 945株
2026年3月期中間期	12, 741, 484株	2025年3月期中間期	12, 724, 863株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、本日、当社ホームページに掲載しております。

また、2025年11月12日 (水) に開催予定の機関投資家及びアナリスト向け決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	6
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(中間連結貸借対照表に関する注記)	6
(中間連結掲益計算書に関すろ注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が景気を下支えするものの、物価上昇による消費者心理の悪化が個人消費の回復を抑制し、全体としては緩やかな持ち直しで推移しました。

一方、世界経済においては、トランプ政権による関税政策が主要国との交渉を経て一定の整理が進んだものの、制度の運用や今後の方針には不確実性が残っており、サプライチェーンや国際貿易の先行きには懸念が続いています。 また、地政学的リスクの長期化にともなう商品価格の高止まりなどの影響もあり、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業におきましては、米国による関税政策が輸出環境に不透明感をもたらし、業界全体に慎重な動きが広がりました。こうした状況下においても、当社における次世代モビリティ関連分野の取引は、顧客層の広がりや需要の変化に柔軟に対応した結果、安定した水準を維持し、当該分野における業績は前年を上回る結果となりました。

こうした中、当社グループにおきましては、「エリアNo. 1の存在価値のあるパートナーになる」をスローガンとした第11次中期経営計画(2024年度~2026年度)に基づき、事業品質向上、成長投資と収益力強化、サステナビリティ推進、資本コスト経営などの主要施策に取り組みました。

当中間連結会計期間におきましては、売上高は次世代モビリティ開発向けの投資や、半導体や物流関連の需要増大の影響を受け、前年同期比で増加しました。利益につきましては、生産性向上による収益改善活動などによる効果もあり、前年同期比で増加しました。販売費及び一般管理費におきましては、ベースアップや海外を含めた人件費の増加があったものの、昨年度に計上されたシステム更新にともなう初期投資が一巡したことで、営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は36,745百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は1,645百万円(前年同期比98.5%増)、経常利益は1,813百万円(前年同期比95.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は、1,306百万円(前年同期比105.0%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は41,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,339百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が4,812百万円増加したものの、棚卸資産が183百万円、営業債権が6,697百万円減少したことによるものであります。固定資産は11,378百万円となり、前連結会計年度末に比べ843百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が120百万円、投資その他の資産が784百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、52,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,496百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は15,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,840百万円減少いたしました。これは主に営業債務が2,471百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ197百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、16,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,642百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は35,916百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,145百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が509百万円増加したこと、為替換算調整勘定が280百万円減少したこと、親会社株主に帰属する中間純利益1,306百万円及び剰余金の配当382百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は67.4%(前連結会計年度末は63.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきまして、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしましたものから変更はありません。

なお、米国による関税政策の影響については、直接的な影響は軽微なものと考えておりますが、当社の顧客の業績や投資判断に対する影響が今後生じる可能性があります。今後の推移を注視し、連結業績予想を修正する必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2025年 3 月31日)	(単位:千円) 当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部	(2025年3月31日)	(2025年9月50日)
流動資産		
現金及び預金	7, 905, 850	12, 718, 518
受取手形及び売掛金	19, 104, 212	15, 126, 216
電子記録債権	9, 655, 652	6, 936, 400
商品及び製品	5, 076, 592	4, 887, 799
仕掛品	882, 299	888, 49
原材料及び貯蔵品	55, 134	53, 79
その他	1, 042, 989	773, 249
貸倒引当金	△49, 306	$\triangle 50,546$
流動資産合計	43, 673, 424	41, 333, 92
固定資産		
有形固定資産	4, 452, 168	4, 573, 003
無形固定資産	522, 089	459, 64
投資その他の資産	* 5, 561, 146	* 6, 345, 762
固定資産合計	10, 535, 404	11, 378, 413
資産合計	54, 208, 829	52, 712, 33
負債の部		· · ·
流動負債		
支払手形及び買掛金	9, 012, 012	6, 861, 473
電子記録債務	6, 396, 146	6, 075, 678
未払法人税等	629, 995	545, 413
賞与引当金	601, 613	546, 359
役員賞与引当金	5,000	50, 80
その他	1, 710, 296	1, 435, 322
流動負債合計	18, 355, 063	15, 515, 049
固定負債		
繰延税金負債	893, 547	1, 130, 382
その他	189, 550	150, 383
固定負債合計	1, 083, 097	1, 280, 763
負債合計	19, 438, 161	16, 795, 813
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 658, 323	1, 658, 323
資本剰余金	2, 033, 421	2, 059, 44
利益剰余金	27, 139, 748	28, 064, 664
自己株式	△14, 779	△6, 132
株主資本合計	30, 816, 714	31, 776, 300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2, 069, 399	2, 578, 89
為替換算調整勘定	934, 205	653, 986
退職給付に係る調整累計額	572, 080	527, 842
その他の包括利益累計額合計	3, 575, 685	3, 760, 725
非支配株主持分	378, 268	379, 499
純資産合計	34, 770, 668	35, 916, 52
負債純資産合計	54, 208, 829	52, 712, 334

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

(単位:千円) 前中間連結会計期間 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 (自 2025年4月1日 2024年9月30日) 2025年9月30日) 至 売上高 34, 173, 196 36, 745, 178 30, 846, 728 売上原価 29, 142, 764 売上総利益 5, 030, 431 5, 898, 449 販売費及び一般管理費 ***** 4, 201, 505 ***** 4, 252, 666 営業利益 828, 925 1, 645, 783 営業外収益 受取利息 11, 150 8,992 受取配当金 77, 516 64, 485 仕入割引 57,654 60,650 為替差益 9,570 8,767 その他 14, 454 営業外収益合計 142,058 171, 184 営業外費用 支払利息 1,674 1,904 為替差損 41,828 株式報酬費用消滅損 1,094 96 233 その他 営業外費用合計 43, 599 3,232 経常利益 927, 384 1, 813, 735 特別利益 4,604 固定資産売却益 6,013 9,382 投資有価証券売却益 国庫補助金 900 特別利益合計 4,604 16, 296 特別損失 1,451 固定資産除却損 80 80 特別損失合計 1,451 1, 828, 579 税金等調整前中間純利益 931, 908 法人税等 272, 299 504, 047 中間純利益 659,609 1, 324, 532 非支配株主に帰属する中間純利益 22, 170 17,570 親会社株主に帰属する中間純利益 637, 438 1, 306, 961

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

		(単位・1円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	659, 609	1, 324, 532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1, 240	509, 496
繰延ヘッジ損益	706	_
為替換算調整勘定	487, 706	△296, 563
退職給付に係る調整額	△56, 887	$\triangle 44,237$
その他の包括利益合計	430, 284	168, 696
中間包括利益	1, 089, 893	1, 493, 228
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1, 052, 138	1, 492, 002
非支配株主に係る中間包括利益	37, 754	1, 226

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、制御機器、産業機器、計測機器等の販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
投資その他の資産	11,866千円	11,866千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
役員報酬及び給与手当	1,687,506千円	1,679,125千円
賞与引当金繰入額	405, 695	452, 390
退職給付費用	△5, 925	△ 5, 553
役員賞与引当金繰入額	41,000	50, 802